

2026年度 長野県立美術館 インクルーシブ・プロジェクト 「みる」を考える 見えない人と見える人が一緒にみるために

2026年11月1日(日) 開催



見えない人と見える人が一緒に美術を楽しむにはどのようにしたらよいでしょうか？長野県立美術館ではインクルーシブ・プロジェクトの一環として、『「みる」を考える 見えない人と見える人が一緒にみるために』を開催します。視覚障がい者と美術を楽しむための研究や実践をおこなっている日野陽子氏(京都教育大学准教授)をお迎えし、視覚障がいのある方とない方が、一緒に展示室で対話による鑑賞をおこないます。「鑑賞」と「みる」「みえない」ことについて対話を通して体験してみてください。

※本イベントは、障がいのある方(視覚障がい)と障がいのない方が対象のイベントです。

※イベント中、グループに分かれて展示室内にて作品鑑賞を楽しむ時間があります。

開催概要

催事名	「みる」を考える 見えない人と見える人が一緒にみるために
開催日	2026年11月1日(日)
時間	13:30～16:00頃(開場:13:00)
会場	長野県立美術館 本館3階 レセプションルーム・本館2階 コレクション展示室 ※レセプションルームにお集まりください ※鑑賞する展覧会は「NAMコレクション2026 第II期」になります
ゲスト	日野陽子(京都教育大学准教授)
参加費	無料
対象	見えない方、見えづらい方、見える方
定員	障がいのある方、障がいのない方 25名程度(申込先着順)
申込	要、事前申し込み(先着順)、専用申込フォームよりお申込みください ※10月30日(金)17:00締め切り ※申込フォームでのご連絡が難しい方は、お電話にてお申込みください



専用申込フォーム

- 注意事項
- 申込フォームでの申込をいただいた方には、美術館から申込受付完了の連絡をさせていただきます。（ご連絡にはお時間がかかる場合があります。5日以上経っても連絡が無い場合は、お手数ですがお問合せください。）
 - 申込受付後に内容を変更したい場合や、やむを得ず参加をキャンセルする場合は、直接美術館までご連絡ください。
 - 諸般の事情により、イベント内容が変更または中止となる場合があります。

ゲスト紹介

日野 陽子 ひの ようこ

兵庫県生まれ。京都教育大学准教授。専門は美術教育学。視覚障がい児者の美術活動（表現、鑑賞）について、視覚支援学校や市民グループと共に研究を続ける。

2012年～2015年にかけて、財団法人細見美術館の協力を得て、おしゃべり音声ガイドを作成、実施使用。2017年～2019年まで、京都国立近代美術館の所蔵品を触って鑑賞できるツールにした「さわるコレクション」に作成協力。美術館での視覚障がい者との鑑賞イベントを監修・講師として参加。2022年度より長野県立美術館にて開催している、『『みる』を考える 見えない人と見える人が一緒にみるために』のアドバイザーを務める。

インクルーシブ・プロジェクトとは

長野県立美術館インクルーシブ・プロジェクトは、美術館がだれでも安心してアートと出会える場所になることを目指すプロジェクトです。だれもが美術館を訪れ、障がいの有無を超えて、アートを体験できるようなさまざまなプログラムを年間を通して開催しています。



過去のイベントの様子

■ 報道関係のお問い合わせ

長野県立美術館 総務課 広報係（※2026/4/1～ 担当課・係名が変更となりました。）

〒380-0801長野市箱清水1-4-4（善光寺東隣） ホームページ：<https://nagano.art.museum>

TEL:026-232-0052 FAX:026-232-0050 E-mail:nam-pr@naganobunka.or.jp